

## M29b 太陽フレアリコネクションインフローの3次元観測

松井悠起、横山央明 (東京大学)

前回の年会で報告した2012年9月11日に発生したリムフレアのリコネクションインフローの3次元観測結果について報告する。磁気リコネクションを基にした太陽フレアの標準モデルでは、リコネクションポイントへ向かう双方向のインフローが発生すると考えられている。太陽の西側のリムで発生したCクラスフレアにおいてSDO/AIAのコロナ温度フィルターの撮像観測により、高温カスプループ上のリコネクションポイントと思われる点へ向かう南北双方向のインフローと思われるループが観測された。北側のループはひので/EISによるコロナ温度の鉄輝線の分光観測でもみかけ速度、視線方向速度共に観測された。またこのループは太陽を別角度から観測しているSTEREO A/SECCHIのコロナ温度フィルターの撮像観測により、フレアループ上空からも観測された。インフローの角度はひので/EISの分光観測によるみかけ速度、視線方向速度から推察される角度と一致している。この結果は我々の知る限り太陽フレアのリコネクションインフローの初めての3次元的な観測であり、磁気リコネクションの3次元構造を議論する。